		問	診	票(ア	ンケー	ート)			
診療科	<u>科</u>				記2	人日:令和		年 月	且
申請者	(ふりがな) 大・昭・平 年	月	日生(男 女 表	連絡先(携帯)申請者			_) _	
作成者 (介護を している 方等)		7,	, L			者との続柄			
『主治医』	意見書』を作成するため	o、ご協 <i>う</i>	力をお願い	いたします	上。該当	する□の欄に	は、	レ印を付けてください	<u>, </u>
	受診されている診療科に 他に受診している診 ありの場合は、どの診療	療科は熱	無い。		め)				
	□ 総合診療内科□ 呼吸器内科□ リウマチ・膠原病内科□ 脳神経外科□ 泌尿器科□ 歯科	一件里整	臓・高血圧 謝・内分泌 経精神科 形外科 婦人科 の他(消化器内科神経内科一般外科形成外科眼科		循環器内科 血液内科 心臓血管外科 皮膚科 耳鼻咽喉科	
	身が不自由になったのだ 召和・平成・令和				きっかけ	又は病気はな	んで	すか。	
В	病 名: 召和・平成・令和 病 名:	年							
(2) その	の後の変化について教え	こてくだ	さい。						
(3) その	の他の病気はありますか	,							
(4) = 0	の半年間の症状について	、変化は	はありまし	たか。					
	□ 変化なし	• 🗆	変化あり 変わった。		どのよう	うな点が変わり	りまし	したか。)	

2. 最	近14	日間以内に以て	下の医療を受	けましたか。					
【処置内容】)管理 ピレーター(I						□酸素療法
					前の看護		□経管栄養		
【特別	か会は		-マ(人工肛 マー測定(血		论表的系	n	□褥瘡(床ずれ	い の処品	子
		け応】 ロカテー						U) V) \Z-E	=.
3. 心	身の場	: : : : : : : : : : : : :	鼻ねいたしま [、]	す。					
(1)	日常生	三活の程度は、必	<u>、のどれにあ</u>	てはまりまっ	<u>まか。</u>				
	0	正常。							
	J1	交通機関等を	:利用して外に	出ができる。					
	J2	隣近所へなら							
		日中はベット	- , .,				. , ,		
		あまり外出し	•	,			- 0		
	B1				きるが、	屋内での)生活には、介助	」が必要。	
	В2	車イスなどー		-	ヒフぶ	見由っての)生活には、介助	よう 八田	
	DΔ	車イスなど-			3 W.	座内で	/生佰には、月 以	か必安。	
	C1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		・排洲	トかどにま	るいて介助が必要	î_	
	01	自力で寝返り			C 1/11F	2.00 € (-4.	o. () 0,3 to 21 3	. 0	
	C2				と・排泄	tなどにぉ	おいて介助が必要	Î.	
		自力で寝返り	をうつこと	が <u>できない</u> 。					
(2)	認知症	Eの症状の程度 に	は、次のどれ	にあてはまり	りますだ	<i>y</i> °			
	0	正常。							
	I	物忘れなど軽い	/認知症状は	あるが、日	常生活に	は、ほぼ	自立している。		
	II a	道に迷ったり、買物や金銭管理などができなくなるほどの症状はあるが誰かが注意していれば 自立できる。							
	∏b	服薬管理はでき	きない。電話	や訪問者と	の対応	ができない	ハなど一人で留ち	宇番がで	きない。
	I IIa	食事・着替え	排泄が上手	にできない。	。排泄	などの症に	伏により日常生活	舌に支障	をきたし、
		介護を必要と	する。 <u>日中を</u>	<u>中心</u> として	症状が	でている。			
	Шb	食事・着替え	・排泄が上手	にできない。	。排泄	などの症に	伏により日常生活	舌に支障	をきたし、
		介護を必要と			-	-			
	IV						_		
	M	せん妄・妄想	・ 興奮などの	著しい精神	症状や	問題行動》	があり専門医の治	台寮を必	要とする。
(3)	記憶及	び理解について	お尋ねいた	します。					
•	物忘》	について	□問題な	L	月	題あり			
•	日常の	意思決定を行う	ための認知	能力					
		自立	□ √√	らか困難		見守り必	公要		判断できない
•		意志の伝達能力							
		伝えられる	□ いく!	らか困難		具体的要	厚求に限られる		伝えられない

(4)	題行動の有無	(についてお尋ねいたし	ます。					
		無し							
	 ₩ <i>₺</i>	りの場合は、	次のどれにあてはまり	ますか。					
	1	幻想・幻聴	(実際に見えないものが見えたり、聞こえないものが聞こえたりする)						
	2	妄想	(実際にはあり得ない不合理な内容などを、確信をもって信じている)						
	3	昼夜逆転	(夜間に眠れず、日常生活に支障がある)						
	4	暴言	(大声を上げて、暴	(大声を上げて、暴力的な発言をすることがある)					
	(5)	暴行	(暴力をふるうこと	(暴力をふるうことがある)					
	6	介護への抵抗	た (介護者の助言や、	(介護者の助言や、介護を受けることに抵抗して支障がある)					
	7	徘徊	(目的もなく歩き回	(目的もなく歩き回る。外出をすると帰ってこられない。)					
	8	火の不始末	(タバコの火やガス						
	9	不潔行為	(排泄物をまき散ら	(排泄物をまき散らす等)					
	10	異食行動	(食欲の異常。食べ	(食欲の異常。食べられない物を食べ、異常な食欲などを示す)					
	11)	性的問題行動	カ (周囲が迷惑するよ	(周囲が迷惑するような性的な問題行動)					
	12	その他	()				
(5) <u>そ</u>	- の他の精神・	神経症状の有無につい	てお尋ねいたします。					
		無し							
			次のどれにあてはまり	ますか。					
	1	失語		:言語の両方)の理解や表出	こ障害がある状態)				
	2	構音障害	害 (俗に"ろれつが回らない"という状態)						
	3	せん妄	(錯覚、幻覚、不安・恐怖などがあり、精神運動性の興奮を伴う)						
	4	傾眠傾向	(意識の清明性の障害。放置すればただちに入眠してしまうような状態)						
	(5)	失見当識	(見当識の機能が失われた状態。健忘症や妄想症も含む)						
	6		(左右がわからないなどや、扉の開け方などが、わからないような状態)						
	_	失行	(服を着る順序や入浴の	服を着る順序や入浴の手順などが、わからなくなる状態)					
	8	その他	()				
	\ a /-								
	※	界門医師の受診	はありましたか。	無し・□ 有りの場合は、記	<u> </u>				
(o\	いた心能につい	マルヨわいたしナナ						
(<u>、てお尋ねいたします。</u> ナ						
			右・□左	壬. 1					
			cm	<u>単: Kg</u> 加 □ 特に変化なし					
	• 10	図本 0 ケ月 間の	1件里の変化: □ 増	加 口 特に変化なし					
	. t	:休の坐能で%	このどれかに、あてはま	スァレけありますか					
) 程度 :□軽 □中 □重				
				(体の場所:					
		」が低下してV		(体の場所:					
				(体の場所:					
		の心へ回よっ		(体の場所:					
				□右 □左】,【足·□右 □					
		(床ずれ)がる) 程度 :□軽 □中 □重				
_									

4. 生活機能とサービスに関する意見		
(1) 移動についてお尋ねいたします。		
• 屋外歩行		
□ 自立 □ 介	助があればしている	□ していない
・車いすの使用		
□ 用いていない □ 主	に自分で操作している	□ 主に他人が操作している
・歩行補助用具・装具〔杖など〕の使用	(複数選択可)	
□ 用いていない □ 屋	外で使用	□ 屋内で使用
(2) 栄養・食生活についてお尋ねいた	します。	
・食事行為 □ 自立ないし	ー 何とか自分で食べられる	□ 全面介助
・現在の栄養状態 □ 良好		□ 不良
(3) 現在、または今後可能性が高い病	態とその対処方針についてお尋	ねいたします。
□ 尿失禁 □ 転倒・骨折	□ 移動能力の(氐下 □ 褥瘡(床ずれ)
□ 心肺機能の低下 □ 閉じこもり	□ 意欲低下	□ 徘徊
		(目的無く歩き回る等)
□ 低栄養 □ 摂食・嚥下	(食べ物を食べて舌で飲み込む等	等)機能の低下
□ 脱水 □ 易感染症(原	菜と場い) □ がん等による	る疼痛
□ その他()	
	,	
(4) 今後、どのようなサービスを受け	たいですか。	
□ 訪問診療 □ 訪問看護	□ 訪問歯科診療	□ 訪問薬剤管理指導
□ 訪問リハビリテーション		□ 訪問歯科衛生指導
□ 訪問栄養食事指導		
□ 看護職員の訪問による相談・支援		
		,
(5) 介護サービスを受ける上で、留意	する問題はありますか。	
血圧(血圧の管理等)		(
移動(歩行に限らず、移乗等)	□ 特になし □ あり	(
 摂食 	□ 特になし □ あり	(
· 運動	□ 特になし □ あり	`
・ 嚥下(舌で食べ物を飲み込ませる)	□ 特になし □ あり	(
その他(,)
		,

5. 介護する上で困ったことや今後不安などがあればお書きください。

ご協力ありがとうございました。 横浜鶴ヶ峰病院 診療記録管理委員会 2025 年 10 月 1 日作成